

べっかい 議会だより



教師のこころを受け継ぐ（教育実習中の「未来の先生」と指導する先輩教師）

63

特集

郊楽苑(旧交流センター)2
関連費用に4521万円

町政のここが聞きたい6
一般質問（松原・木嶋・西原・森本・中村・瀧川の6議員）

シリーズ 志を受け継ぐ 中西別小学校 指導教諭 間船通孝さんまふねみちたか16



2012.11.1
北海道別海町議会



郊楽苑(旧交流センター)関連費用に4521万円

補正予算可決

附帯決議も同時に可決

■契約書の不備

六月十五日の全員協議会で、平成二十一年に(株)郊楽苑と締結した賃貸借契約書に不備があり、町として相応の負担をしなければならぬと、町長から口頭で説明がありました。

■補正予算の概要説明

八月三十日の産業建設常任委員会、九月六日の全員協議会で、郊楽苑関連予算の案が示されました。

内容は、過去の改修費(建物の内外装、外周整備、設備機械等)、消防設備やエレベーター等法定点検費用、源泉ポンプ電気料、保全調査委託料などです。

「改修工事の際、事前に協議したか」「見積書請求書、領収書の点検はしているのか」などの質問に、「まだ確認していないが、請求書など証拠書類が整った段階で点検し支出する」

という答弁でした。

■予定議案の変更

そして、審議

九月十一日、定例会議本会議開催三十分前に全員協議会が開催されました。

備品関係費用(六百六十八万円)は後日精査するとして、当初の案から減額した内容が示されました。(左表) 引き続き本会議が開かれ、審議が行われました。

「契約書の変更につい

内 訳	金 額	
過去の改修費	2378万円	
法定点検費	H21.8 ~ H24.9	883万円
	H24.10 ~ H25.3	162万円
源泉ポンプ電気料	H21.8 ~ H24.9	620万円
	H24.10 ~ H25.3	141万円
郊楽苑保全計画委託費	335万円	
郊楽苑関連費用合計	4521万円	

※端数処理をしているため合計額は一致しません

て弁護士と協議中とのことだが、そういう段階では十分な審議がでないのではないか」という質問に、町長は、

「契約の問題については早い時期から指摘されていた。郊楽苑の維持、運営はぎりぎりの所まで来ているという思いで提案した」と答弁しています。

■議案の採決

九月十四日が定例会議最終日でした。

これまでに産業建設常任委員会を三回、全員協議会を三回開催し審議を積み重ねてきた中で、最終的に採決が行われました。

中村議員から反対討論がありました。賛成多数(賛成一四名、反対二名)で補正予算は可決されました。(三ページに「関連記事」)

■附帯決議も可決

補正予算可決直後、

小林産業建設常任委員長から緊急動議が出され、「附帯決議」が可決されました。(全会一致)

提案理由は、「審議を進める中で、根拠となる資料と時間的余裕が満たされないまま時間切れとなった。なぜ町が不適当な契約を締結し、相手側に不当な負担を強いてしまったのか、間違いがあったのなら、その反省に立つてこれからの郊楽苑の運営に生かしていく方策を見出すことが必要だ。議会としては、議案の是非を単に採決するだけではなく、執行機関に対し、注意を喚起する意味合いから附帯決議を提案する」というものです。

■契約書の見直し

民法では、賃貸借契約において、賃貸人は建物の修繕義務があり、賃借人は修繕を要するときに、原則として通

知義務を負うと規定されています。

町は、借地借家法に則って契約の見直しを検討中ですが、九月定例会議の時点では、具体的内容については弁護士と協議中とのこと

です。議会として、今後とも郊楽苑の運営について、調査・審議を進めていくつもりです。

「附帯決議」

- 一、旧交流センターに関する経費の支出にあたっては、内容の精査を確実に実行するとともに、計画的な保全・活用に努めること。
- 二、施設の保全については、情報公開を一層進め、適正な契約などの締結及び履行に努めること。
- 三、行政は計画や議案などの提案に当たり、資料提供及び審議時間の確保に配慮すること。

9月 定例議会

9月11日～14日開催

9月定例議会は、9月11日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

（中村忠士議員）
町側の承諾がないまま(株)郊楽苑側が修繕を実施し、それが妥当であるか実地見聞を含めた検証がなされていません。
また、支出証拠書類を突き合せ、精査・検証することも行われていません。
これは、補正予算の提案として重大な欠陥

補正予算への反対意見

です。
疑問のあるまま提案に賛成することはできません。
提案を取り下げ、しっかりと議論をしたうえで、臨時議会、または、次回定例会に提案すべきです。
以上のことから、本議案に反対します。



郊楽苑の方向性を町民みんなで考えていきたい

◆別海町公民館の設置及び管理等に関する条例
これまで、「公民館条例」と「公民館使用条例」の二本立てとなっていたため運用が煩雑となっていたことから、一本の条例にまとめ、新たに制定しました。審議の結果、賛成多

**条例を制定
しました**

（瀧川榮子議員）
公民館は、広く町民に開かれた場であるべきです。
説明された内容では公民館の使用制限が残り、それに該当するとされた場合、公民館を利用できないことになり、そのことから本条例案に反対します。

反対意見

数（賛成一三、反対三）で可決されました。

平成24年度 補正予算概要

補正額	予算総額
一般会計（3回目の補正）	
2億9820万円 増	151億3750万円
下水道事業特別会計（1回目の補正）	
820万円 増	5億3020万円
介護保険特別会計（1回目の補正）	
780万円 増	9億3430万円
水道事業会計（2回目の補正）	
〈収益的支出〉	
41万円 増	5億 389万円
〈資本的支出〉	
650万円 増	3億3429万円
一般会計の主な補正（歳出）	
○財政調整基金積立金	1億8980万円増額
○調整交付金事業（中春別福祉館改修実施設計）	785万円増額
○障がい者福祉事業経費（介護給付・訓練等給付費）	2527万円増額
○家畜ふん尿貯留施設整備事業（整備経費助成）	1600万円増額
○新規就農者農場整備事業（実施設計費助成）	1500万円増額
○経済交流推進事業（中国との経済交流）	258万円増額
○交流センター補修事業（保全計画策定調査委託料）	335万円増額
○交流センター管理経費（施設補修負担金等）	4185万円増額
○下水道事業特別会計繰出金	820万円増額
○消防事務組合運営経費（全国消防操法大会出場経費）	387万円増額
下水道事業特別会計の主な補正（歳出）	
○農業集落排水事業（排水管等移設工事調査設計委託）	820万円増額
介護保険事業特別会計の主な補正（歳出）	
○地域密着型介護サービス給付金（小規模多機能居宅介護利用者の増による）	545万円増額
○23年度地域支援事業の確定による精算金	235万円増額
水道事業会計の主な補正（資本的支出）	
○道道根室中標津線中春別橋架け替え工事に伴う配水管移設工事調査設計委託費	650万円増額

◆別海町暴力団排除条例

昨年四月に「北海道暴力団の排除の推進に関する条例」が施行されたことにより、暴力団が市町村の事務事業などに関与することを防ぐため、当町においても新たに条例を制定しました。

条例を一部改めました

◆町立別海病院事業の



新病院開院にともなって条例も変わりました

設置等に関する条例

◆町立別海病院条例

◆町立別海病院及び診療所使用料並びに手数料条例

いづれも、町立別海病院の改築移転に伴い、病床数、設置場所、使用料および手数料の改正などが行われました。

◆別海町有乗合自動車の運行等に関する条例

町立別海病院の改築移転に伴い、町有バスの病院前乗り入れが可

能となったことから、運行経路の一部追加と、関係する運賃の改正などが行われました。

◆別海町中小企業融資条例

景気低迷がしばらく続く見込みであることなどから、中小企業への融資の貸付期間を延長するため、所要の改正が行われました。

財産の取得を承認しました

■スクールバス(中型) 2台

指名競争入札により東北海道いすゞ自動車(株)中標津支店が落札しました。

取得価格は、三千五百四十九万円です。

■高規格救急自動車 1台

指名競争入札により釧路トヨタ自動車(株)中

標津店が落札しました。

取得価格は、三千九百五十二万二千円です。



町民の命を守る救急自動車

■塵芥収集車 1台

指名競争入札によりUDトラックス道東(株)釧路支店が落札しました。

取得価格は、千四百六十七万九千円です。

土地改良事業の施行について

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業(富岡南地区)の実施を承認しました。実施期間は平成二十五年から二十九年度ま

で、概算事業費は二億五千万円です。

国・道に意見書を提出しました

◆地球温暖化に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

提出者 森本 一夫 議員 他四人

地球温暖化対策のための税の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みづくりを早急に図るよう求める意見書が提出されました。

◆義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保・拡充を求める意見書

提出者 今西 和雄 議員 他四人

教科書の無償給与の堅持、ならびに地方交付税等を含む義務教育

予算の確保・拡充を強く要望する意見書が提出されました。

◆保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書

提出者 木嶋 悦寛 議員
他四人

国民の健康を守り、医療費の削減にも効果が認められる予防歯科医療推進にむけ、抜本的な歯科医療政策の見直しなどを求める意見書が提出されました。

◆全国健康保険協会管掌健康保険に関する意見書

提出者 山田 信 議員
他四人

主に中小企業などの従業員とその家族が加入する協会けんぽに対する国庫補助率を、現在の一六・四%から二〇%に引き上げることなどを強く要望する意

見書が提出されました。

◆道路の整備に関する意見書

提出者 沓澤 昌廣 議員
他五人

町民生活に欠かすことのできない道路整備に必要な予算を確保するとともに、地方の自主性・裁量性を重視した制度とすることを求める意見書が提出されました。

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 総務文教常任委員会
委員長 佐藤 初雄

地域の雇用や社会保障を守るうえで、地方自治体の役割が重要になっ

◆コケイン症候群を国の特定疾患治療研究事業対象疾患と小児



歯は健康の基礎 歯科診療の役割は大きい

慢性特定疾患に指定(難病指定)を求める意見書

提出者 福祉医療常任委員会
委員長 松原 政勝

コケイン症候群は、遺伝子の異常により、幼いころから知的・身体的に大きな障害を引き起こし、多くは早くして亡くなる例の多い難病です。

根本的な治療法はいまだ確立されておらず、

患者や家族の精神的・経済的な負担も大きなものになっています。

北海道内でも三名が発症し、そのうち二名が近隣の中標津町在住ということであり、こうした実情を踏まえ、患者が安心して治療を受けられる支援を行うよう強く要望する意見書が提出されました。

※七件の意見書は全員の賛成で可決しました。

平成二十三年年度各会計決算審査特別委員会

平成二十三年年度一般会計・国保会計など九会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。

決算委員会の構成は下記のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 戸田 憲悦 |
| 副委員長 | 安部 政博 |
| 委員 | 安田 輝男 |
| 委員 | 中村 忠士 |
| 委員 | 戸田 博義 |
| 委員 | 松原 政勝 |
| 委員 | 森本 一夫 |
| 委員 | 木嶋 悦寛 |

町政の ここが聞きたい

9月定例議会では2日目(9月12日)に6議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録はホームページに掲載します。



交通事故防止に役立っているエゾシカの飛び出し防止柵

■松原政勝 議員……………7

- 1 鳥獣保護区域内の駆除を実施する考えは

■木嶋悦寛 議員……………8

- 1 定住促進は町民にも大切な施策では
- 2 地域密着型情報源として、コミュニティFMの検討は
- 3 旧光進小中学校の再利用の検討は



再利用が検討されている旧光進小中学校



低脂肪乳を練り込んだ「乳ほたぎようざ」(JA中春別などで販売)

■西原 浩 議員……………9

- 1 「小・中学校適正配置計画」の見直し作業は
- 2 別海町酪農のフードチェーン[※]構想の推進を

※フードチェーン……食料の1次生産から最終消費までのフロー、食品やその材料の生産から加工・流通までの一連の段階および活動

■森本一夫 議員……………10

- 1 郊楽苑継続のために十分な情報公開が必要では
- 2 震災がれき(漁具・漁網)の受け入れ要請はありましたか



現在最終処分場で使用されている破さい機



特養ホームでくつろぐ利用者(清翠園)

■中村忠士 議員……………11

- 1 自衛隊演習、拡大しないよう申し入れを
- 2 特養ホーム、民営化してもサービス低下や労働条件低下は起きないか
- 3 教育委員会議事録公開などさらに情報公開を

■瀧川榮子 議員……………12

- 1 いじめの現状について



楽しい給食時間で話はずむ(写真はいじめと関係ありません)

詳しくはホームページをご覧ください

別海町議会

検索

松原政勝議員



松原議員

鳥獣保護区域内の 駆除を実施する考えは

町長 効果的な駆除体制を
整備し実施します

住の地となっております。

道東を中心とするエゾシカの増加による環境破壊、産業被害さらには交通事故多発が大きな社会問題になって

います。特に別海町に移動集中してくる時期は、全道一斉に狩猟が開始される十月頃です。

別海町はラムサール条約の登録地であり、三地区に鳥獣保護区が設定されています。この保護区は数か月間エゾシカにとって安

■平成22年度 別海町における エゾシカ被害の現状

品 目	被害数値
牧 草	3415ha 5億3273万円
デントコーン	5ha 52万円
口 ー ル	不 明 1億 36万円
再 播 種	不 明 1293万円
	計 6億4654万円
交 通 事 故	警察に届け出のあった件数は64件で、被害金額は不明。実態はこの数倍に達するものと思われる。

(参考) 別海町鳥獣被害防止計画より抜粋

有田産業振興部長 北海道においては推定六十四万頭、北海道東部地区は二十七万頭、根室管内は二万八千頭、別海町内の頭数は一万六千頭と推定しています。

保護区内は森林被害をはじめ、多くの草花に被害を与え、海岸の浸食や破壊にも影響を及ぼしています。また、エゾシカによる交通事故が多発しています。町は増え続けるエゾシカに対して駆除も含めてどのような対策を行ってまいりますか。

鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、エゾシカの管理計画を策定しています。

気象条件にもよりますが、毎年度自然増加率は全体頭数の二〇〇程度になってます。鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、エゾシカの管理計画を策定しています。急激な生息数の増加に伴い、交通事故による生命の危険、林業被害などが増加傾向にあります。

質問 道道四七五号線は国指定の鳥獣保護区内を通っています。エゾシカの飛び出しが原因とされる交通事故が多発しています。

質問 保護区内の駆除を実施しなければ、保護区内は環境破壊地区と化してしまいます。早急な対策と駆除の実施が求められます。取り組みの考えは。

質問 道路管理者に対し要望する考えは。

有田産業振興部長

一般狩猟期間は例年十月から一月下旬までです。その後二月下旬までの鳥獣保護区内における、駆除の早期実施に向けて関係機関と協議しています。具体的な駆除の内容が決まれば地域の関係機関と協議のうえ、駆除の実施を行います。

水沼町長

エゾシカ問題は環境破壊、産業被害、交通事故など、被害を超えて災害的な問題であると認識しております。シカ侵入防止柵の設置延長については、



鳥獣保護区（走古丹）で越冬するエゾシカ

道路管理者に設置の延長も含めて毎年度要望をしています。これからも引き続き要望をします。また、鳥獣保護区内の駆除については、環境省と協議し、駆除の実施に向けて協議を進めています。エゾシカ問題は町村会をおして道または国へ、重要課題として強く要望をします。

木嶋悦寛議員



定住促進は町民にも大切な施策では

木嶋議員

町長 「住み続けたい町」が原点です

質問 今年、町の人口が一万六千人を切りました。人口減は、さまざまな弊害を生みます。定住促進の取り組みが各地でなされていますが、この町に住んでいる人にも、大切な取

り組みだと考えますが、町長の考えは。

水沼町長

当町では酪農研修牧場を核とする、新規就農対策が中心です。食観光日本一を目指した取り組みなど、住民の皆さんみずから積極的に取り組んでいただいて、交流人口増に結びついています。魅力ある地域にしようという取り組みにもなり、定住・移住の促進にもつながると思います。

質問

経済・住民が連携していくために、ぜひ役場に連携・協働を進めるための専門部所をつくってほしいと考えます。全産業がどのように町の中で関わりを持っているのか検証し、魅力ある町を発信していくべきです。

水沼町長 住んでみたい、行ってみたい地域はどうい

う地域か、その原点をしっかりと見詰めたいと思います。

木嶋議員

地域密着型情報源として コミュニティFMの検討は

総務部長

運営方法やコストに

課題があります

質問

東日本大震災では、コミュニティFM局がいち早く災害放送局として、二十四時間にわたって地域の情報を発信し続けたことが報告されています。当町に開設する意義は大きいものと考えますが。

竹中総務部長

地域防災を考えた場合、コミュニティFMの果たす役割は大きいと思います。運営のあり方、コスト、人材の確保、インフラの整備など、さまざまな検討が必要です。特に広大

旧光進小中学校の 再利用の検討は

木嶋議員

教育部長

宿泊体験施設として検討中です

質問

平成二十年三月に閉校した旧光進小中学校の再利用について、現在どのような検討がされていますか。

大島教育部長

青少年の健全育成を目的とした宿泊体験施設として利用を考えています。

改修に要する概算工事費は八千万程度となるため、補助制度の

活用を含め、検討します。

質問

ぜひ通年で利用できる施設とし、社会人も使えるよう、利用範囲を広げては。

大島教育部長

利用については、社会人も考えています。

宿泊の場合、利用期間が制限され、通年利用は厳しいと考えます。



FMねむるで毎週水曜日に放送されている防災のコーナー。東日本大震災での教訓が伝えられる。取材協力：株式会社ねむる市民ラジオ

西原議員

「小・中学校適正配置計画」の見直し作業は

教育長 基本方針の再検討も含め

年内にまとめます

質問

町は平成十七年十一月に「別海町立小・中学校適正配置計画」を策定しました。

推進計画では、五年ごとの地域の出生数、人口推計などを行い、統合の必要性を検討することになっていますが、その基本方針は。

質問

通学時間が増えることと放課後の子どもたちの活動が課題です。

山口教育長

教育委員会では、統合後についても通学時間を一時間以内と限定して、スクールバスを運行しています。

長時間のバス移動が少なからず児童・生徒の学習面、生活面に影

響するものと受け止めています。今後、通学時間の短縮化を検討します。

質問

耐震化も重要な課題です。適正配置と絡めてどのように進めていきますか。

山口教育長

校舎・屋体合わせて、全体施設は十八校六十

棟で、耐震化率は八八%です。

中春別中学校は平成二十五年から改築工事を行う予定です。上西

春別中学校は耐力度調査を実施し、改築を検討します。別海小学校、別海中学校の屋内体育館については、学校適正配置の検討結果に基づいて、小学校、中学校併用での改築、あるいは単独での改築を検討します。

山口教育長

校舎・屋体合わせて、全体施設は十八校六十

西原議員

別海町酪農のフードチェーン構想の推進を

町長 食観光日本一のまちを

目指していきます

質問

消費者と生産者の結びつきの強化や地域と触れ合う交流活動の推進を目的として、グリーンツーリズムネットワークが事業を展開しています。今年度は百三十四名の修学旅行生

が二十一戸の農家で農作業体験を行いました。今後の展開として、

宿泊施設との連携や、オープン企画の開発を検討しては。

有田産業振興部長

根室振興局と管内一

市四町、全日空、旅行会社四社で「根室管内教育旅行誘致推進協議会」が設立されました。

今後の教育旅行の受け入れ態勢強化のためにも必要ですので、旅館などに宿泊しての酪農体験メニューの確立などを検討します。

質問

京都大学の岡田教授が、「酪農のフードチェーンを拡張させていくのが重要である。そのために別海町全体として生乳生産に新たな事業を付加する六次産業化の試みを追及する必要があります。」と提言しています。

水沼町長

酪農專業地帯である当町としても、フードチェーンの拡大に向けて、柔軟な対応をしていきます。

質問

「別海町酒場」という居酒屋が東京の神田にオープンしました。そこでは別海を前面に出したメニューで営業を展開しています。

べつかい乳業興社が軸になり町内の飲食店と協力して新しいメニューを開発しては。

水沼町長

町としては食観光日本一を目指している中で、そういう観点からどのような支援ができるのか、またしなければならぬのか皆さんと協議していきたいと考えています。

西原 浩 議員



九月月上旬から統廃合の可能性のある五学区（別海小中・上風連小中・中西別小中・西春別

消費者と生産者の結びつきの強化や地域と触れ合う交流活動の推進を目的として、グリーンツーリズムネット

酪農專業地帯である当町としても、フードチェーンの拡大に向けて、柔軟な対応をしていきます。



今後も新たな展開が期待される乳業興社の製品

森本一夫議員



議員 森本
**郊楽苑継続のために
十分な情報公開が必要では**

産業振興部長
保全計画を策定し公開します

質問
本来、町が負担すべき費用を借主が支払っていた経緯をうかがいます。

水沼町長
契約内容に民法上不備があり、町が負担すべきものを借主が支払っていたものです。

有田産業振興部長

町民に説明責任があることから、保全計画のための調査委託費を補正予算に計上しており、調査結果を皆様に報告し、検討していきます。

質問

第三セクターで運営していた時と、民間に移行してからの町負担費用の比較は。

有田産業振興部長

第三セクターで十八年間運営していた時は、総額約十億三千万円、年平均五千七百万円、(株)郊楽苑に賃貸した三年間は総額約六千万円、年平均二千百万円です。

質問

旧交流センターを継続するためには、修繕等改修計画を町民に示す必要があるのでは。

質問

旧交流センターの役割を考えた時、積極的に相互協力して、町民や観光客が満足して利用できる施設にするべきでは。

水沼町長

郊楽苑が地域の活性化に取り組んでいることは承知しています。

民間同

業種の方々の整合性を図りながら、町民の理解を得て協力していきます。



日本一のモール温泉に多くのファンを持つ郊楽苑

議員 森本
**震災がれき(漁具・漁網)の
受け入れ要請はありましたか**

福祉部長 北海道知事より
協力要請がありました

質問

漁具等がれきの受け入れについて、道から正式に要請がありましたか。

佐藤福祉部長

岩手県の漁具・漁網の処理は見通しが立たないため、道は受け入れを検討していただける市町村と協議を進めたいとのことから、正式な協力要請と受け止めています。

質問

町は要請に対してどのような協議を進めていますか。

佐藤福祉部長

漁具・漁網の形状、材質、混入物等の状況など、道から明確に示されていないため対応に苦慮しています。

放射能汚染の問題も

含め、町民の健康被害、基幹産業への影響など、今後も慎重に協議を重

ねていきます。

質問

当町は東北各地より入植し、基幹産業の発展に寄与されました。震災復興に積極的に協力していく考えはありますか。

水沼町長

可能な限り協力していきたいと考えます。

質問

この地域で震災等が発生し、多量のがれきが出た時、現在、町の破さい機では処理が不可能であると調査結果が出ていますが、破さい機の改良をする考えは。

水沼町長

多量の震災がれき類については、各町で分別し、可燃ごみは破さい機を通してから広域連合の焼却場へ持ち込みすることで対応したいと考えます。

議員 中村 自衛隊演習、拡大しないよう申し入れを

町長 文書で申し入れをしました

質問

今年七月の演習通知で「航空機を使用する訓練等の使用時間」に
関し、「〇時から二十四時」という通知でした。
これまで「五時から二十二時」となっていたものが拡大されています。

航空機訓練の拡大は、酪農を基幹産業とする当町にとって大きな問題です。訓練時間を拡大しないよう自衛隊にしっかりと申し入れをすべきです。



矢白別演習場で飛行訓練するヘリコプター

水沼町長

これまでも演習の内容によって、周辺住民に不安を与える恐れがあると判断した場合は、その都度、駐屯地に申し入れを行ってきました。

今回の航空機使用時間についても、八月二十二日付で、早朝・深夜および搾乳時間は航空機を使用する訓練を行わないよう、文書での申し入れを行いました。

中村忠士議員

水沼町長 現在のサービス水準が低下することのない

議員 中村 特養ホーム、民営化してもサービス低下や労働条件低下は起きないか

町長 低下が起きないように「柏の実会」と協議を進めます

質問

特養ホーム民営化でサービスが低下しないかと確認できますか。

水沼町長

現在のサービス水準が低下することのない

また、演習場周辺の騒音対策として、実弾射撃およびヘリコプターなどの飛行訓練の日曜・祝日の自粛や夜間訓練の短縮についても、駐

屯地はもとより、国防衛局、北部方面総監部、第五旅団など関係機関に要請を行っています。今後も継続して要請活動を行っていきます。

よう、町として進めていきます。

質問

サービスを低下させないということですが、町民への情報公開が必要だと思えます。

水沼町長

町民、家族、入所されている皆さんに随時説明していくことは当然必要です。移譲してもそういうことはやってもらいたいと思っています。

質問

移譲後、施設で働く人の雇用・労働条件が低下したり、非正規雇用が増えることはありませんか。

水沼町長

法人での勤務を希望する嘱託職員に対して、正・嘱託・パートの中から希望する雇用形態を調査しています。少しでも多くの職員

が希望する形態で雇用されるよう、また職員の雇用・労働条件が低下しないよう「柏の実会」と協議を進めていきます。

議員 中村 教育委員会の議事録公開などさらに情報公開を

教育長 実施にむけ検討します

質問

町議会や農業委員会、総会の議事録公開など、情報公開が進んでいきます。この方向をさらに進めてほしいと思えます。

竹中総務部長

議会中継は、ライブ映像でも五百万円前後、画像の品質にこだわらなければ、さらに安価で導入が可能です。町としても事業の予算化について、議会と十分協議させていただく考えです。

山口教育長

情報公開は必要と考

瀧川榮子議員



瀧川議員

いじめの現状について

教育長 定期的に状況把握
必要に応じ経過観察を

質問 いますが、課題解決には時間が必要な場合が多く、経過観察を行っています。

質問

新聞紙上では、いじめ件数は減っているが自殺は増えており、把握しきれいていないのではないかと言われていますが。

質問

学校・家庭・地域が、すべてのいじめを発見することは不可能であり、隠れたものがあると認識しています。

山口教育長

山口教育長

担任を中心に児童・生徒の観察や情報の把握、本人の訴えや保護者からの指摘、クラスメートからの情報など共有される体制が作られています。

質問

人間関係を築くにはゆとりが必要で、教師が、子どもたちに公平に相對する時間のゆとりが確保されていますか。

山口教育長

教員の仕事は底がありませんが、部活動や少年団などもあります。



子どもたちのがんばりに部活動の指導にも熱が入ります

自我や社会性の発達に伴って、いじめの特徴も変化するとされています。成長とともに変化するいじめはなくならないものとしてとらえ、学校、家庭の情報共有と相談体制づくりが必要と考えますが。

平成二十四年度からは、臨床心理士が採用され、いじめや不登校に關わる保護者相談にも対応しています。

ほとんどの先生方は、勤務時間を考えずに働いていますが、創意工夫はできるかと思えます。

質問

先生方は、子どもたちと同じ目線で、起きているいじめに対処する必要があります。

山口教育長

自分の価値観だけで

いじめではなく、けんかだと断ずることは危険です。

いじめられる者、いじめめる者、そして第三者として傍観している者がいます。傍観することが、加害者に加担しているという意識を持たせる教育が必要です。

同級生の自覚あるサポートと安心・安全を実感できるまでの保護や、自立支援する粘り強い対応が必要です。

山口教育長 いじめは、誰もが加害者になり、被害者にもなります。それを十分認識し、定期的に実態把握・調査を実施しています。



楽しく遊び仲間の理解を深める子どもたち
(写真はいじめと関係ありません)

六月の調査では小学校二十七件、中学校六件が認知できたと報告がありました。すべて一学期中に問題は解消したとの報告を受けて

「議会だより」に一言
(モニターのご意見)

広報委員会では町民の皆さんの声を反映するために、議会モニター制度を開始しました。今回は定例会を傍聴に来ていた中春別地区の鈴木さんにお話ししました。



中春別地区の鈴木郁夫さん

Q 議会モニター制度をどう思いますか。

A 町民とつながりを持つという意味では、大事なことだと思いません。

Q 議会を傍聴した感想は。

A 「いじめ」や「郊楽苑」など、身近なテーマの問題を議論しているなと思いました。

「郊楽苑」については、今までの投資金額の多さに驚きました。今までより負担金が少ないから良いという考え方はどうかと思います。新しく入浴施設を建

設した方が安いと思います。発想の転換が必要ではないでしょうか。

Q 議会や議会だよりに対しての要望は。

A 昨年行った議会報告会は評価します。ただ、会場での発言は議会だよりに掲載してほしいと思います。せっかく発言したのに掲載されていないのは不満です。ページ数が多いのを組んでやりくりしてほしいと思います。発言内容を録音するなど工夫が必要ではないでしょうか。

Q 町政に対する要望

A は。長年、老健のシーツ交換などのボランティア活動を行ってきました。ボランティア活動に参加する人が、増えていかないと課題があります。

町は、社会福祉協議会に任せきりにしないで、もっと積極的に支援策を検討してほしいと考えています。ボランティア活動に対する意識改革をお願いしたいと思います。

ご協力くださりありがとうございました。厳しいご意見もありましたが、重く受け止めたと思います。

「議会報告会」2012

上春別・西春別・上風連・別海・尾岱沼の5会場で開催



昨年の議会報告会の様子
今年はさらに多くの方をお待ちしています

議会報告会の内容

- ①議会活動活性化の取り組み報告
- ②前年度意見に関する取り組み状況
- ③各常任委員会の活動報告
- ④議会や町政に対する意見交換

町議会が町民の負託にこたえ、「笑顔あふれる豊かさ実感のまちべつかい」を実現するためには、議会と町民との連携が重要です。情報の共有と町民参加をはかるため、議会活動の状況などを町民に報告するとともに、議会に対する町民の意見や町政に対する提言などを直接聞く場として「議会報告会」を開催します。

日程と会場

- | | | | |
|--------|-----------|-----------|------------------|
| ①上春別地区 | 11月7日(水) | 午後1時～午後3時 | 上春別地域センター |
| ②西春別地区 | 11月7日(水) | 午後7時～午後9時 | 西春別ふれあいセンター |
| ③上風連地区 | 11月8日(木) | 午後1時～午後3時 | 上風連地域センター |
| ④別海地区 | 11月12日(月) | 午後1時～午後3時 | 交流館ぱらと |
| ⑤尾岱沼地区 | 11月12日(月) | 午後6時～午後8時 | 尾岱沼地域センター (きらくる) |

議会のうごき

産業発展と円滑な議会活動めざして 議会運営委員会研修（8月7日～8日 札幌市）



道職員と意見交換する議会運営委員

別海町の産業発展の課題などについて見聞を深め、円滑な議会活動を進めるため、道漁連や道職員との意見交換を行いました。道漁連・北海道漁業環境保全対策本部は、漁場環境の保全、改善を目的とし、濁水などの流出防止、有害生物対策、公害防止協定締結支援などの活動を昭和三十八年から行っ

「森と川と海は一つ」のスローガンのもと、信頼関係を構築し、水産・酪農共に発展できるよう知恵を絞らなければなりません。道議会議員・道職員との意見交換では、農業

の指摘がありました。「森と川と海は一つ」のスローガンのもと、信頼関係を構築し、水産・酪農共に発展できるよう知恵を絞らなければなりません。道議会議員・道職員との意見交換では、農業

関係で北海道酪農の生き残り戦略やTPP問題など三項目、水産業関係で有害生物の駆除、密漁対策など四項目について意見交換を行いました。農業では、酪農肉用牛生産近代化計画の推進と資源循環型酪農の確立が重要であること、また、TPPに対しては断固反対という認識を共有しました。水産業では、有害生物の駆除を自治体などと協議しながら進めること、密漁対策でも関係機関との連携、住民からの情報提供などが有効であることを確認しました。今回の意見交換会を、今後の議会活動に役立てていきたいと思っています。（佐藤初雄委員）

電力不足など悩みかかえる国後島 北方四島交流訪問

（8月16～20日 国後島古釜布ふるかまっぶ）

北方四島交流訪問、いわゆる「ビザなし交流」に総勢六十五人で行ってきました。十六日は事前研修会を行い、根室泊。翌日九時、根室港より船（えとぴりか）に乗り、「近くて遠く」国後島にむけ出航しまし

た。船内は広くてきれいで、船のゆれもほとんど感じませんでした。午後一時三十分ごろ古釜布に到着。入域手続きなどに時間がかかり、一時間以上待つてようやく上陸。「友好の家」につき、夕食の時間となりました。国後島では時差があり日本本土より時間が早く、夕食は本土時間の午後四時（国後島時間六時）にとるようになりました。十八日は、博物館・幼稚園・浄化施設などを視察し説明を受けましたが、驚いたことに博物館の二階、三階がアパートになっていた。昼食後、古釜布日本人墓地・東沸墓地の墓参を行い、その後図書館を見せていただきました。国後島には書店がなく、図書館が重要な役

割を担っている様です。蔵書には日本語に関する書籍もありました。この日一番のイベントはホームビジット。準備をして訪問宅へ。

訪問宅は夫婦、小学生の子どもが二人、祖母の六人家族です。最初は緊張していましたが、おいしい料理とウオッカがふるまわれ、身振り手振りを交えて結構会話がはずみました。予定の二時間を二十分も過ぎて、片言の挨拶で帰ろうとすると、祖父の方が、「おまえおもしろいから泊まれ」とのこと。

と。丁寧にお断りして友好の家に戻りました。十九日は、空港、新住宅建設現場などを見学。昼からは住民交流会、コンサートがあり、楽

しい時間を過ごしました。二十日は古釜布から根室へ。今回の訪問でいろいろながわかりました。島の道路網や港湾整備は遅れており、電力不足、ごみ問題などの悩みがあること。生活・産業排水が湾内に垂れ流されており、環境汚染が懸念されることなどです。

今回の訪問事業に参加させていただき大変勉強になりました。(小林敏之議員)



四島交流訪問で日本人墓地の墓参をする参加者

「認知症」について深く学びました 女性議員研修会 (8月25日〜26日 留萌市)

北海道女性議員協議会総会と研修会が八月二十五日、二十六日に留萌市で開かれ、参加してきました。

この協議会は全道の道市町村女性議員が超党派で一年に一度交流し、勉強会を通して資質の向上を図ることを目的に六十年前から始まりました。

女性議員の総数は二百四十二名で、今回は八十九名の参加でした。総会の中では、議案として、国や道に提出する要望書も十一件出されました。

全員賛成でなければ通すことができない決まりで、多くの議論と内容修正が行われ、全ての要望書を提出することになりました。内容としては、

○保育所保育士の処遇



全道から参加した女性議員 熱い議論もありました

大学教授の小海康夫氏より「健康長寿の町を目指して」と題して、認知症について学びました。認知症の診断方法や認知症と診断が出たとき、治療で治るのかの確認が必要だということなどとともに、援助への心構えなど幅広い講義がありました。

改善に関する要望
○老朽化し管理放置された家屋の調査・除去費用に対する財政支援制度の確立を求める要望
○泊原発の再稼動をやめ原発に頼らない北海道の実現を目指す要望
研修会では札幌医科大学

(瀧川榮子議員)

子どもたちと共に成長

別海町立中西別小学校 指導教諭 馬場俊太郎先生 間船 通孝



教育実習中の馬場俊太郎先生（中央）と笑顔の子どもたち

中西別小学校は、児童数三十三名、教職員十一名の小規模校です。

本校が母校である馬場俊太郎さんを迎え入れ、可愛い六名の二年生を担当し、五週間の教育実習が行われました。

先輩教師として次のことばを贈ります。「日々の授業と子どもたちとのふれ合いに、満足されたことと思います。研究授業はとても落ち着いていて、立派でした。一つの授業で、指導案を五本も六本もつくり検討に検討を重ねたことは、大きな財産になったはずですが、自分にとつても良い経験させていただきました。これからもこだわりを持ち続けて取り組む姿勢は忘れないでください。」

子どもたちとのふれ合いを大切にしたいと思う反面、日々の授業の準備や運営に係わる雑多な業務など、喜びも多いが苦悩も多い大変激しい仕事です。頑張りすぎず頑張り続ける姿勢で取り組んでいってほしいと思います。決して自己満足に陥らずに、答えを子どもたちの中に見いだしていきたいと思います。来年の教員採用試験の朗報をお待ちしております。

編集後記



日本の伝統芸、切り紙の大道芸人・キリガミスト千陽（ちあき）さんとお会いする機会がありました。昨今伝統芸など日本文化が危機にさらされています。着物を着る機会や伝承者の減少など。ライフスタイルの変化もありますが、日本人であることの誇りを自分も含め失いつけているのではないのでしょうか。

十一月三日は文化の日。伝統文化に目を向け、見つめなおす機会を得たことに感謝します。（木嶋委員）

新病院開院を前に、九月二十八日から三日間引越し作業が行われました。

九月三十日現在、入院されている患者さんは四十五人、陸上自衛隊や町の消防署の協力で行われました。

自衛隊は、釧路駐屯地第二十七普通科連隊と帯広第五後方支援隊から、救急車四台と隊員二十九名に協力していただき、無事搬送が終わりました。

多くの協力をいただき新病院の開院が出来た事は町民の一人として大変嬉しく思います。（松原委員）

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!